

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子準々決勝

福岡県

80

18	—	13
18	—	14
21	—	16
23	—	8
—	—	—

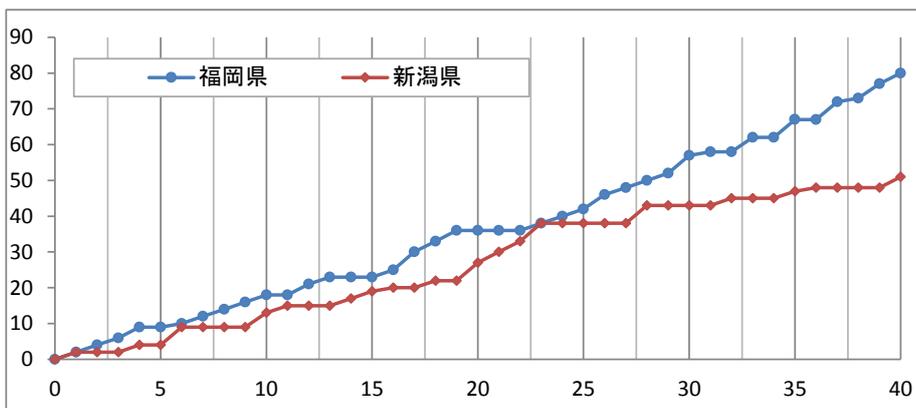
51 新潟県

○

●

主審 谷地 温
副審 伊藤 亮介

No. 23F-1 日時：2015年9月23日(水) 10:00 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



福岡県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 酒井 祐典 (C)	14	0	4	6	4	8	3
6	* 織田 秀司	10	0	4	2	0	0	1
7	伊集 貴也	3	1	0	0	1	1	0
8	* 中深迫 諒太	5	0	1	3	1	6	1
9	赤星 雄平	0	0	0	0	2	2	0
10	岡 隆輔	6	0	2	2	0	2	0
11	三友 康平	6	0	3	0	1	1	1
12	根岸 豪	6	0	2	2	1	5	0
13	村瀬 敦希	15	4	1	1	1	1	0
14	* 毛利 孝志	10	0	4	2	2	10	0
15	* 熊谷 駿	5	0	2	1	4	9	5
コーチ 山口 健太郎						0		
合計		80	5	23	19	17	45	11

新潟県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 岩下 大志 (C)	12	0	6	0	4	7	0
5	* 渋谷 祐佑	6	2	0	0	2	1	0
6	小沢 貴文	0	0	0	0	2	1	1
7	* 岩澤 裕也	1	0	0	1	4	5	2
8	* 坂上 聡	5	0	1	3	3	2	0
9	* 田中 憂希	10	2	2	0	1	1	0
10	山崎 将也	3	1	0	0	0	7	1
11	近藤 大	8	1	2	1	3	1	1
12	和田 直樹	4	0	2	0	1	3	4
13	木村 啓太郎	0	0	0	0	0	0	0
14	今村 佳太	0	0	0	0	2	3	1
15	齋藤 康高	2	0	1	0	2	4	1
コーチ 信田 英樹						0		
合計		51	6	14	5	24	35	11

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…

戦評

準々決勝、福岡県対新潟県。立ち上がりは両チームマンツーマンで始まる。福岡県は#15のアシストで得点を重ね、対する新潟県は積極的にドライブを仕掛け得点していく。しかし、福岡県の早い攻守の切り替えにディフェンスが遅れ、ファウルがかさんでしまうものの、新潟県も#12の終了間際のシュートも決まり、1ピリオドは18-13と5点差で福岡県のリード。2ピリオドは新潟県が#4、#8を中心に得点を重ねていき、流れを引き寄せる。福岡県はすかさずタイムアウトで流れを切り、そこから#13の連続3Pなどで再び差を広げる。新潟県は残り1分からの連続得点で踏みとどまり、9点差で前半を終える。

後半に入っても新潟県は前半終了間際の流れをそのままに、3本の3Pなどで開始3分で一気に逆転する。福岡県はタイムアウトを取り、その後は#15のミドルシュートなどで再び逆転し、57-43と結果的に14点差に点差を広げて3ピリオドが終わる。4ピリオド、福岡県は慌てずゆっくりとオフェンスをし、着実に点数を重ねる。新潟県も最後まで果敢に戦い抜いたが、80-51で福岡県が準決勝に駒を進めた。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved. Vol. 007a

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



成年男子準々決勝

和歌山県

59

13	—	23
15	—	14
14	—	17
17	—	12
—	—	—

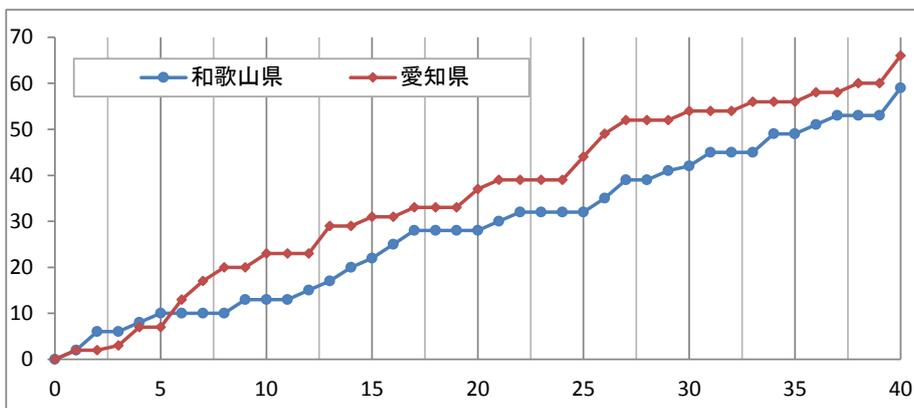
66 愛知県

○

主審 針生 淳男

副審 松岡 隆博

No. 23F-2 日時：2015年9月23日(水) 11:55 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



和歌山県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 知念 恭平 (C)	6	0	3	0	3	1	5
5	劉 瑾	9	0	3	3	0	9	1
6	* 宮村 悠	4	0	2	0	2	9	0
7	* 中岡 佑太	8	0	2	4	1	5	2
8	久保田 和貴	0	0	0	0	0	0	0
9	高崎 雅之	4	0	2	0	2	1	1
10	宮崎 潤	0	0	0	0	1	0	0
11	* 井上 卓哉	17	5	1	0	3	5	2
12	川崎 達朗	3	1	0	0	0	1	0
13	高木 智也	0	0	0	0	0	1	0
14	三井 峻輔	-	-	-	-	-	-	-
15	* 寺下 太基	8	0	3	2	3	15	1
コーチ 垣内 信明						0		
合計		59	6	16	9	15	47	12

愛知県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	熊谷 慎也	-	-	-	-	-	-	-
5	* 梅津 敬介	14	0	6	2	4	9	1
6	合瀬 教成	0	0	0	0	0	2	1
7	* 石原 裕貴	1	0	0	1	1	7	4
8	* 五十嵐 貴志	15	1	4	4	0	5	1
9	足立 尚也	6	2	0	0	0	1	0
10	* 鈴木 鉄夫	10	0	5	0	3	4	3
11	* 熊澤 恭平 (C)	12	1	4	1	3	5	5
12	小阪 彰久	2	0	1	0	1	7	0
13	柿本 直樹	0	0	0	0	1	1	1
14	星野 和希	6	1	0	3	1	0	1
15	落合 恭兵	-	-	-	-	-	-	-
コーチ 稲山 泰樹						0		
合計		66	5	20	11	14	41	17

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…

戦 評

準々決勝、和歌山県対愛知県。両チームともハーフコートマンツーマンで試合が始まる。序盤、和歌山は#4のドライブインを中心に得点を重ね、8-3とリードする。その後、愛知県は堅いディフェンスからの速攻で得点し、愛知県#10のシュートで逆転に成功する。1ペリオドは13-23、愛知県リードで終了。2ペリオド、和歌山県#5の連続得点、和歌山#11の3Pで流れをつかもうとするが、愛知県#10、#11の得点で点差を縮めさせない。得点を28-37とし、愛知県9点リードで前半が終了する。

3ペリオド、愛知県は前半に引き続き堅い守りから速攻で得点し、また愛知県#8、#9の確率の良いシュートで点差を広げる。対する和歌山は#9のミドルシュートで対抗するが、愛知県12点リードでこのペリオド終了。4ペリオド、両チーム一進一退の攻防で差が縮まらない。試合時間残り3分、和歌山県がゾーンディフェンスに切り替え勝負に出る。ここで、和歌山#11のパスカットから速攻を繰り出すが、愛知県も落ち着いたオフェンスを見せる。終始リードを守りきった愛知県が59-66で勝利。最後まで勝敗の行方分からない白熱したゲームだった。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved. Vol. 007a 和歌山県バスケットボール協会

東日本大震災復興支援
第70回国民体育大会
バスケットボール競技会

2015 紀の国 **わがやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ▶ 10月6日



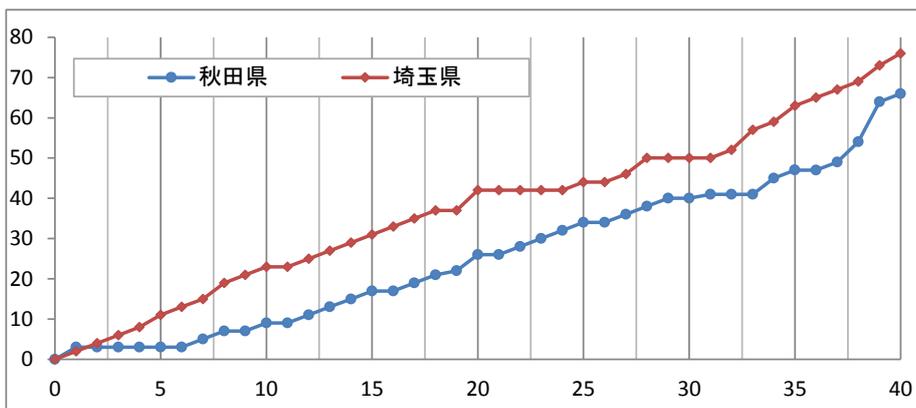
成年男子準々決勝

秋田県 66 ● 76 ○ 埼玉県

主審 小澤 勤
副審 青木 俊博

9	—	23
17	—	19
14	—	8
26	—	26
—	—	—

No. 23F-3 日時：2015年9月23日(水) 13:50 会場：和歌山市立河南総合体育館Fコート



秋田県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 石橋 拓 (C)	17	0	5	7	1	7	1
5	若月 徹	4	0	2	0	1	6	0
6	小野 大貴	7	0	3	1	3	7	3
7	* 畠山 純也	8	2	1	0	2	0	4
8	工藤 紘介	-	-	-	-	-	-	-
9	一戸 祐也	0	0	0	0	0	4	8
10	高橋 純	7	0	3	1	3	3	0
11	* 佐藤 光	12	0	6	0	2	5	2
12	* 根岸 城二	4	0	2	0	2	5	2
13	佐藤 哲朗	-	-	-	-	-	-	-
14	櫻庭 朋久	-	-	-	-	-	-	-
15	* 土屋 真人	7	1	2	0	0	1	1
コーチ 柿崎 智弥						0		
合計		66	3	24	9	14	38	21

埼玉県

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 田中 洋貴 (C)	9	1	3	0	2	4	5
5	* 河本 裕一	11	0	5	1	1	1	1
6	根元 裕貴	0	0	0	0	2	0	0
7	* 佐々木 陽	14	0	6	2	2	8	0
8	張 暁博	4	0	2	0	1	4	0
9	金城 真悟	5	0	2	1	4	4	2
10	菊沢 翔平	2	0	1	0	0	1	0
11	駒水 豪	0	0	0	0	0	0	0
12	* 田村 晋	6	0	2	2	0	4	2
13	馬場 健司	6	0	3	0	1	4	1
14	占部 賢人	3	1	0	0	1	1	3
15	* 皆川 徹	16	0	7	2	3	4	0
コーチ 城迫 昇						0		
合計		76	2	31	8	17	35	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦 評

準々決勝、秋田県対埼玉県。両チームともマンツーマン。開始直後、秋田県#15の3Pが決まったが、埼玉県はそこから#15のダンクシュートなどで15連続得点をあげる。秋田県も#5や#11の2Pで追い上げを見せるが9-23で1ピリオドを終える。2ピリオドは一進一退で、残り4分秋田県はゾーンディフェンスに切り替え、秋田県#4のスティールからの得点で波に乗ろうとするが、埼玉県も#12の2Pなどで食い止めて前半26-42で埼玉県リードで折り返す。後半秋田県はディフェンスの頑張りから#4の速攻などで得点を重ねる。埼玉県は4分間ノーゴール。秋田県#11のゴール下や埼玉県#5のドライブなど両チームとも得点を入れ、3ピリオド秋田県が10点差に追い上げ40-50とする。4ピリオドは埼玉県がペースをつかみ再び16点差まで広げる。秋田県はゾーンディフェンスに切り替える。残り2分を切り、秋田県はオールコートディフェンスから流れをつかみ連続10得点で一気に7点差まで詰めよったが、最終66-76と埼玉県が勝利し、準決勝に進んだ。敗れはしたが最後まであきらめずに戦った秋田県の健闘が印象に残る試合だった。

© 2015 Yuzo Kosaka All Rights Reserved. Vol. 007a

